

地域社会安全保障教育推進事業 実施報告書

平成25年3月29日
株式会社東京リーガルマインド

目次

1. 全体スケジュール	2
2. 委託事業実施状況報告	3
(1) 実施体制	4
(2) 学校の選定・調整過程	5
(3) 体験活動連携先の選定、調整過程	6
(4) 社会保障教育プログラムの策定	7
(5) 教材の作成・準備	8
(6) 授業の実施	9
① ルネサンス高等学校	9
② 明蓬館高等学校	11
③ 大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校	13
④ 東京都立竹台高等学校	15
(7) アンケートの集計結果	18
① ルネサンス高等学校	19
② 明蓬館高等学校	22
③ 大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校	24
④ 東京都立竹台高等学校	26
3. 授業の実施結果の検証	35
(1) 生徒の関心・理解に繋がった点	35
(2) 問題点・改善点	36
4. 社会保障教育の全国展開・定着に向けた考察	37
(1) 現状の課題	37
(2) 提案	37

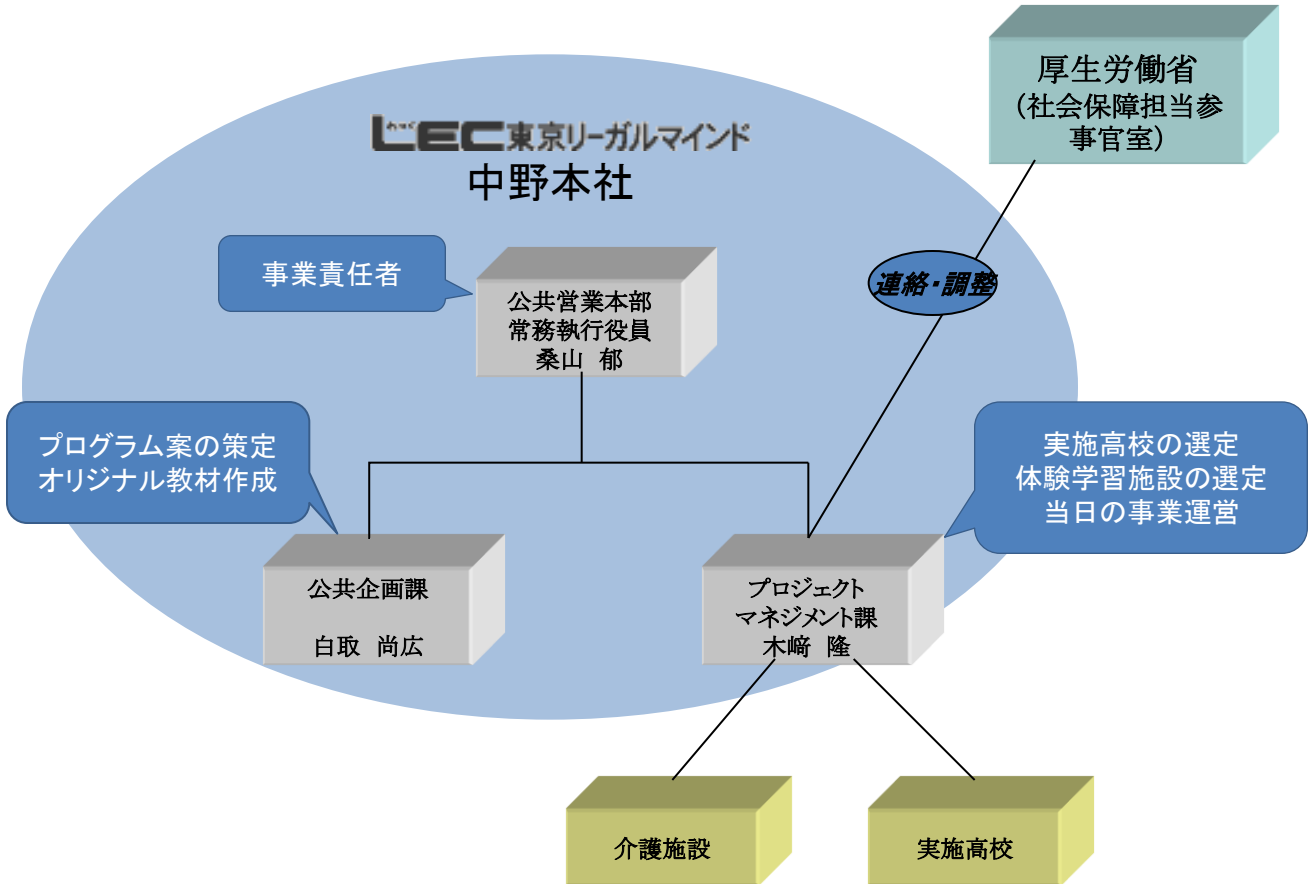
1. 全体スケジュール

	プログラム 等作成	学校側との 調整等	体験活動先 との調整等	関係機関 との調整	授業の実施
H24 8月	↑ プログラム 策定				
9月					
10月	↓ 教材作成	↑ 実施校 選定			
11月				↑ 体験活動 先選定	↑ 地方自 治体と の調整
12月		↓ 授業内容 調整			
H25 1月					
2月					●ルネサンス高校 ●明蓬館高校
3月					●大阪ビジネスフ ロ ンティア高校 ●都立竹台高校

2. 委託事業実施状況報告

(1) 実施体制

- ① 受託者
株式会社東京リーガルマインド



②授業の実施校

学校名 (所在地)	国 公私	科	学年	人数	充当教 科	担当教諭・講師		体験学習先	実施日
						講義	体験学習		
ルネサンス 高等学校 (茨城県久慈郡大 子町浅川1253)	私	普通 科	混 合	34 名	家庭総 合・他 (スクー リング)	股野 廣 (特定社会 保険労務 士)	鴨志田立夫 (久慈川荘 施設長)	久慈川荘 (茨城県久 慈郡大子 町)	平成25 年2月1 日・2日
明蓬館 高等学校 (東京都品川区北 品川5-12-4)	私	普通 科	混 合	9 名	家庭総 合・他 (スクー リング)	市川恵子 (社会保険 労務士)	中澤建樹 (晴楓ホー ム施設長)	晴楓ホーム (東京都品 川区)	平成25 年2月7 日
大阪市立大阪 ビジネスフロン ティア高等学 校 (大阪市天王寺区 烏ヶ辻2-9-26)	公	グロ ー バル ビジ ネス 科	2 年	18 名	ロング・ ホーム ルーム (進路 指導)	市川恵子 (社会保険 労務士)	由井亜希子 (四天王寺 きたやま 苑介護長)	四天王寺 きたやま 苑 (天王寺区)	平成25 年3月2 日
東京都立 竹台高等学 校 (東京都荒川区 東日暮里5-14-1)	公	普通 科	2 年	40 名	政治経 済 ロング・ ホーム ルーム	市川恵子 (社会保険 労務士)	加藤幹代 (センター 長)	文京くすの きの郷 (文京区)	平成25 年3月 19・21 日
				40 名		梶原達郎 (社会保険 労務士)	林	文京大塚み どりの郷 (文京区)	
				40 名		武井 薫 (社会保険 労務士)	藁科智久 (事務統括)	癒しの里南 千住 (荒川区)	
				40 名		宮澤 誠 (社会保険 労務士)	谷口文貴 (次長)	特別養護老 人ホーム蔵 前(台東区)	
				20 名		和田初生 (社会保険 労務士)	平井里奈 (ホーム長)	グランダ浅 草橋 (台東区)	
				20 名		和田初生 (社会保険 労務士)	佐治貴子 (特養生活 相談員)	特別養護老 人ホーム台 東(台東区)	
				20 名		股野 廣 (特定社会 保険労務 士)	小林秀行 (施設長)	サンハイム 荒川 (荒川区)	
				20 名		股野 廣 (特定社会 保険労務 士)	倉本三義 (副施設長)	特別養護老 人ホーム谷 中(台東区)	

(2) 学校の選定・調整過程

① 選定までの所要期間

- ・ルネサンス・明蓬館・大阪ビジネスフロンティア高校
⇒2ヶ月間(平成24年7月～9月)
- ・竹台高校
⇒2ヶ月間(平成24年10月～11月)

② 当該学校の選定に至った経緯

- ・ルネサンス高校・明蓬館高校
⇒弊社の大学事業において、学生募集などで協力いただいた高校の中から選定した。
- ・大阪ビジネスフロンティア高校
⇒弊社が受託実施している「高校生就職ガイダンス事業」において、実施に協力してくれた高校から、3校を候補としてピックアップ。
その後、電話連絡・訪問をし、実施を決定した。
- ・竹台高校
⇒都立普通科高校に電話かけをし、実施に前向きであった5校を訪問し、スケジュール面で実施可能であった同校で決定した。

③ 選定に当たり留意した点

- ・当初、実施校が通信制高校や職業科高校に偏っているという検討会委員の意見を受けて、新たに都立普通科高校を実施校に加えた。

④ 選定・調整に当たり障害となった点

- ・高校への打診の過程で、高校側からは以下のような指摘をいただいた。
 - ① 学校行事が年間で決まっている為、年度途中で話をいただいても実施は難しい。
 - ② 介護施設への見学があるが、生徒全員を多数の施設に派遣するのは移動中の交通安全など注意すべきリスクが多い。
その為、特に都立普通科高校の選定は難航した。
次年度以降の実施の際は、年度当初(理想は前年度中)に打診をし、早めに実施を決定する必要があると思われる。

(3) 体験活動連携先の選定、調整過程

①選定までの所要期間

・2ヶ月間(平成24年11月～12月)

②当該連携先の選定に至った経緯

- ・高校周辺の介護施設へ電話掛けを行い、受入を検討してくれた施設には後日訪問し、選定した。
- ・都立竹台高校がある荒川区に関しては、区の福祉推進課を訪問し、区立の特別養護老人ホームに実施の協力を要請していただいた。(今回の実施では「サンハイム荒川」が該当)

③選定に当たり留意した点

・なるべく高校に近い場所で選定するよう留意した。

④選定・調整に当たり障害となった点

介護施設の選定においては、以下の点が障害となった。

- ①プライバシー・院内感染(インフルエンザ・ノロウイルス)の観点から受入を断られるケースが多かったこと
- ②キャパシティの問題で、大人数(20名程度)の受入は難しいケースがあったこと

実施時期については12月～2月の実施を避け、選定においても大人数の受入が可能な施設を、余裕をもって探す必要があると感じた。

「介護保険制度」を選定した思考過程について

①具体事例の必要性

社会保障教育の導入には高校生にとって身近な具体事例を取り上げて理解を促す必要があると考えた。事例は、本事業の趣旨を鑑み、社会保険(医療保険、年金保険、介護保険、雇用保険、労働保険)の中から選定することが妥当と考えた。

②介護保険制度の選定

社会保険の中でも、日常生活において高校生が家族などの身近な存在として高齢者がいることから医療保険、年金保険、介護保険に着目した。特に、介護保険は講義ばかりでなく、グループワークや体験学習などの参加型学習を実施することにより教育効果が大きいと期待できるものと考え、介護保険制度を選定することにした。

(4) 社会保障教育プログラムの策定

① 策定者

弊社東京本部にて、プログラム策定責任者の下、弊社社員で策定。

② 策定に当たり参考にしたもの

・講義

厚生労働省作成の指導マニュアルを参考

・グループワーク

下記の資料から、社会保障や介護保険または介護そのものの論点を引き出し作成。

・アーネ・リンドクウィスト、ヤン・ウェステル

『あなた自身の社会 スウェーデンの中学教科書』新評論(2005)

・社会保障教育 オフィス内田

『高校生・大学生・社会人の必須科目 社会保障』文芸社(2008)

・体験学習

介護保険施設の見学がメインとなることから、福祉教育プログラムを参考に策定

・東京都社会福祉協議会『大学と施設をつなぐ介護等体験プログラム』(2002)

・静岡市社会福祉協議会

『福祉教育プログラム集【完全版】わたしのしあわせ みんなのしあわせ』(2002)

③ 策定に当たり留意した点

実施する高校、講師ともに初めての試みということもあり、

確実に社会保障教育について理解してもらうことを前提に策定した。

特にグループワークは高校教育ではあるが、社会保障や介護について考える、議論することを優先し、講義の流れに応じて議論のテーマを変化させて良いという柔軟性を残した。

(5)教材の作成・準備

①作成者

教材作成は、プログラム策定の一貫としてとらえ、プログラム策定責任者の下、弊社社員で作成した。

②作成に当たり参考にしたもの

・講義

厚生労働省作成の指導マニュアルを参考

・グループワーク

・厚生労働省ホームページ「介護保険とは」(2010)

<http://www.mhlw.go.jp/topics/kaigo/gaiyo/hoken.html>

・厚生労働省『平成24年版 厚生労働白書』(2012)

さらに「地域性」を導き出すために、高校の地元にあたる自治体が作成した「介護保険事業計画」の概要版やリーフレットなどを資料集として採用した。また、厚生労働省検討会事務局から紹介いただいた中学生向けパンフレット「地域で支える介護保険」(荒川区、2012)を採用させていただいた。本書については、荒川区で中学校に出前授業の経験があるということから活用方法について多大なアドバイスをいただき、作成の参考とした。

・体験学習

・東京都社会福祉協議会『大学と施設をつなぐ介護等体験プログラム』(2002)
⇒教職員や生徒、講師が注意するポイントについて参考にした。

・静岡市社会福祉協議会

『福祉教育プログラム集【完全版】わたしのしあわせ みんなのしあわせ』(2002)
⇒学習内容について参考にした。

③作成・準備に当たり留意した点

「講義→グループワーク→体験学習」という「プランA」と、「講義→体験学習→グループワーク」という「プランB」どちらにも対応できる教材が必要な為、グループワークと体験学習が前後逆になっても学習が可能となるように配慮した。

(6)授業の実施

① ルネサンス高等学校(私立)

- (1)所在地 : 茨城県久慈郡大子町浅川1253
- (2)受講生徒 : 単位制による広域通信制課程 普通科
- (3)受講生徒数 : 35名
- (4)充当教科 : 家庭総合・他(スクーリング)

1 限目(講義)

- (1)日時
平成25年2月1日(金) 15:00~15:45
- (2)講師
股野 廣(特定社会保険労務士・LEC専任講師)
- (3)目的(ねらい)等
 - ①政府の役割には、教育・社会保障・外交などがあることを理解する。
 - ②社会保障の役割と社会保険制度の基本的な考え方を理解し、収入と支出のバランス、社会保険料についての基本的知識を身につける。
 - ③社会保険料と税の違いについて考え、社会保険の特徴である「給付の権利性」について理解する。
- (4)使用教材
 - ①厚生労働省作成副教材「政府の役割と社会保障」(ワークシート、ファクトシート)
 - ②独自資料「わたしたちの生活と社会保険制度」
- (5)内容

展開	内容	使用教材
5分	オリエンテーション ・講師自己紹介、趣旨・内容説明。	
10分	政府の役割について ・歳入と歳出のバランスについて、「お小遣い」などを例にわかりやすく説明。	教材①
15分	社会保障の役割 ・政府の歳入・歳出同様、左右のバランスが大事であることを説明 ・社会保障制度は、高齢・病気・貧困などの様々なリスクから国民生活の安定を守っていることを理解してもらう。 ・「自助」「公助」「共助」を適切に組み合わせて成立していることを説明	教材①
15分	税や社会保険料について ・生徒が知っている税・社会保障を挙げさせ、内容について説明 社会保障と税の違いについて ・ワークシート4(1)の部下の提案では、保険料を払い続けるのに給付を受けられない人をどうすればいいか、生徒に考えてもらう。 ・ワークシート4(2)について、生徒に考えてもらう。	教材①②

2限目(グループワーク)

- (1)日時
平成25年2月1日(金) 15:50~16:30
- (2)講師
股野 廣(特定社会保険労務士・LEC専任講師)
- (3)目的(ねらい)等
介護保険制度の仕組み・必要となった理由について理解する。
介護サービスにはどのようなものがあるか理解する。
- (4)使用教材
①オリジナル教材「グループワーク用レジュメ」
②「みんなでささえる介護保険」(千葉県柏市作成の利用ガイド)
- (5)内容

展開	内 容	使用教材
10分	家族構成の変化 ・高齢者をとりまく社会環境の変化について学習する。	教材①
10分	介護保険制度とは ・介護サービスの種類、高齢者とその家族の生活の変化について考えてもらう。	教材①②
20分	グループワーク ・6名ずつ6班に分かれ「介護保険制度を維持・充実するためにどのようにしたらよいか」グループワークを実施。 ・1班1分程度で発表	教材①②

3限目(体験授業・施設見学)

- (1)日時
平成25年2月2日(土) 13:00~16:00
- (2)体験先施設名
特別養護老人ホーム久慈川荘(施設長:鴨志田立夫)
- (3)目的(ねらい)等
特別養護老人ホームを訪問し、介護の体験・施設の見学を行うことで、介護保険制度の重要性について理解する。
- (4)使用教材
①オリジナル教材「施設見学用レジュメ」
- (5)内容

展開	内 容	使用教材
30分	高校から施設へ移動	
20分	施設概要の説明(施設にて) ・施設の概要・歴史などについて説明	教材①
30分	施設見学 ・2班に分かれ、特養・デイサービスなどの各フロアを見学 ・レクレーションなどに参加し、利用者の方と触れ合う	教材①
10分	質疑応答	教材①
30分	施設から高校へ移動	

②明蓬館高等学校(私立)

- (1)所在地 : 東京都品川区北品川5-12-4
- (2)受講生徒 : 単位制による広域通信制課程 普通科
- (3)受講生徒数 : 9名
- (4)充当教科 : 家庭総合・他(スクーリング)

1 限目(講義)

- (1)日時
平成25年2月7日(木) 10:10~11:00
- (2)講師
市川 恵子(社会保険労務士・LEC専任講師)
- (3)目的(ねらい)等
 - ①政府の役割には、教育・社会保障・外交などがあることを理解する。
 - ②社会保障の役割と社会保険制度の基本的な考え方を理解し、収入と支出のバランス、社会保険料についての基本的知識を身につける。
 - ③社会保険料と税の違いについて考え、社会保険の特徴である「給付の権利性」について理解する。
- (4)使用教材
 - ①厚生労働省作成副教材「政府の役割と社会保障」(ワークシート、ファクトシート)
 - ②独自資料「わたしたちの生活と社会保険制度」
- (5)内容

展開	内容	使用教材
5分	オリエンテーション ・講師自己紹介、趣旨・内容説明。	
15分	政府の役割について ・歳入と歳出のバランスについて、「お小遣い」などを例にわかりやすく説明。	教材①
15分	社会保障の役割 ・政府の歳入・歳出同様、左右のバランスが大事であることを説明 ・社会保障制度は、高齢・病気・貧困などの様々なリスクから国民生活の安定を守っていることを理解してもらう。 ・「自助」「公助」「共助」を適切に組み合わせて成立していることを説明	教材①
15分	税や社会保険料について ・生徒が知っている税・社会保障を挙げさせ、内容について説明 社会保障と税の違いについて ・ワークシート4(1)の部下の提案では、保険料を払い続けるのに給付を受けられない人をどうすればいいか、生徒に考えてもらう。 ・ワークシート4(2)について、生徒に考えてもらう。	教材①②

2限目(グループワーク)

- (1)日時
平成25年2月7日(木) 11:10~12:00
- (2)講師
市川 恵子(社会保険労務士・LEC専任講師)
- (3)目的(ねらい)等
介護保険制度の仕組み・必要となった理由について理解する。
介護サービスにはどのようなものがあるか理解する。
- (4)使用教材
①オリジナル教材「グループワーク用レジュメ」
②「地域で支える介護保険」(東京都荒川区作成の利用ガイド)
- (5)内容

展開	内 容	使用教材
15分	家族構成の変化 ・高齢者をとりまく社会環境の変化について学習する。	教材①
15分	介護保険制度とは ・介護サービスの種類、高齢者とその家族の生活の変化について考えてもらう。	教材①②
20分	グループワーク ・2班(男性・女性)に分かれ「介護サービスはどのようなものがよいか」グループワークを実施。 ・1人2分程度で発表	教材①②

3限目(体験授業・施設見学)

- (1)日時
平成25年2月7日(木) 13:00~15:00
- (2)体験先施設名
特別養護老人ホーム晴楓ホーム(施設長:中澤建樹)
- (3)目的(ねらい)等
特別養護老人ホームを訪問し、介護の体験・施設の見学を行うことで、介護保険制度の重要性について理解する。
- (4)使用教材
①オリジナル教材「施設見学用レジュメ」
- (5)内容

展開	内 容	使用教材
30分	高校から施設へ移動	
20分	施設概要の説明(施設にて) ・施設の概要・歴史などについて説明	教材①
30分	施設見学 ・特養・デイサービスなどの各フロアを見学 ・レクレーションなどに参加し、利用者の方と触れ合う	教材①
10分	質疑応答	教材①
30分	施設から高校へ移動	

③ 大阪ビジネスフロンティア高等学校(公立)

- (1)所在地 : 大阪市天王寺区烏ヶ辻2-9-26
- (2)受講生徒 : グローバルビジネス科 2学年
- (3)受講生徒数 : 18名(医療系の進学を希望)
- (4)充当教科 : ロング・ホームルーム(進路指導)

1 限目(講義)

- (1)日時
平成25年3月2日(土) 10:30~11:20
- (2)講師
市川 恵子(社会保険労務士・LEC専任講師)
- (3)目的(ねらい)等
 - ①政府の役割には、教育・社会保障・外交などがあることを理解する。
 - ②社会保障の役割と社会保険制度の基本的な考え方を理解し、収入と支出のバランス、社会保険料についての基本的知識を身につける。
 - ③社会保険料と税の違いについて考え、社会保険の特徴である「給付の権利性」について理解する。
- (4)使用教材
 - ①厚生労働省作成副教材「政府の役割と社会保障」(ワークシート、ファクトシート)
 - ②独自資料「わたしたちの生活と社会保険制度」
- (5)内容

展開	内容	使用教材
10分	オリエンテーション ・学校教諭から、医療系就職の際の心構えの説明。 ・その根幹として「社会保障制度」があることを説明、LEC講師の紹介 ・講師自己紹介、趣旨・内容説明。	
10分	政府の役割について ・歳入と歳出のバランスについて、「お小遣い」などを例にわかりやすく説明。	教材①
15分	社会保障の役割 ・政府の歳入・歳出同様、左右のバランスが大事であることを説明 ・社会保障制度は、高齢・病気・貧困などの様々なリスクから国民生活の安定を守っていることを理解してもらう。 ・「自助」「公助」「共助」を適切に組み合わせて成立していることを説明	教材①
15分	税や社会保険料について ・生徒が知っている税・社会保障を挙げさせ、内容について説明 社会保障と税の違いについて ・ワークシート4(1)の部下の提案では、保険料を払い続けるのに給付を受けられない人をどうすればいいか、生徒に考えてもらう。 ・ワークシート4(2)について、生徒に考えてもらう。	教材①②

2限目(グループワーク)

- (1)日時
平成25年3月2日(土) 11:30~12:20
- (2)講師
市川 恵子(社会保険労務士・LEC専任講師)
- (3)目的(ねらい)等
介護保険制度の仕組み・必要となった理由について理解する。
介護サービスにはどのようなものがあるか理解する。
- (4)使用教材
①オリジナル教材「グループワーク用レジュメ」
②「地域で支える介護保険」(東京都荒川区作成の利用ガイド)
- (5)内容

展開	内 容	使用教材
10分	家族構成の変化 ・高齢者をとりまく社会環境の変化について学習する。	教材①
10分	介護保険制度とは ・介護サービスの種類、高齢者とその家族の生活の変化について考えてもらう。	教材①②
20分	グループワーク ・6名ずつ3班に分かれ「介護サービスはどのようなものがよいか」グループワークを実施。 ・1班2分程度で発表	教材①②

3限目(体験授業・施設見学)

- (1)日時
平成25年3月2日(土) 13:15~14:40
- (2)体験先施設名
四天王寺きたやま苑(介護長:由井亜希子)
- (3)目的(ねらい)等
特別養護老人ホームを訪問し、介護の体験・施設の見学を行うことで、介護保険制度の重要性について理解する。
- (4)使用教材
①オリジナル教材「施設見学用レジュメ」
- (5)内容

展開	内 容	使用教材
10分	高校から施設へ移動	
20分	施設概要の説明(施設にて) ・施設の概要・歴史などについて説明	教材①
30分	施設見学 ・特養・デイサービスなどの各フロアーを見学 ・レクレーションなどに参加し、利用者の方と触れ合う	教材①
10分	質疑応答	教材①
10分	施設から高校へ移動	

④ 東京都立竹台高等学校(公立)

- (1)所在地 : 東京都荒川区東日暮里5-14-1
- (2)受講生徒 : 普通科 2学年6クラス
- (3)受講生徒数 : 240名
- (4)充当教科 : 政治経済、ロング・ホームルーム

1 限目(講義)

- (1)日時
平成25年3月19日(火) 10:45~11:35
- (2)講師
1組:市川 恵子(社会保険労務士・LEC専任講師)
2組:梶原 達郎(社会保険労務士・LEC専任講師)
3組:武井 薫(社会保険労務士・LEC専任講師)
4組:和田 初生(社会保険労務士・LEC専任講師)
5組:股野 廣(特定社会保険労務士・LEC専任講師)
6組:宮澤 誠(社会保険労務士・LEC専任講師)
- (3)目的(ねらい)等
 - ①政府の役割には、教育・社会保障・外交などがあることを理解する。
 - ②社会保障の役割と社会保険制度の基本的な考え方を理解し、収入と支出のバランス、社会保険料についての基本的知識を身につける。
 - ③社会保険料と税の違いについて考え、社会保険の特徴である「給付の権利性」について理解する。
- (4)使用教材
 - ①厚生労働省作成副教材「政府の役割と社会保障」(ワークシート、ファクトシート)
 - ②独自資料「わたしたちの生活と社会保険制度」
- (5)内容

展開	内 容	使用教材
5分	オリエンテーション ・講師自己紹介、趣旨・内容説明。	
10分	政府の役割について ・歳入と歳出のバランスについて、「お小遣い」などを例にわかりやすく説明。	教材①
15分	社会保障の役割 ・政府の歳入・歳出同様、左右のバランスが大事であることを説明 ・社会保障制度は、高齢・病気・貧困などの様々なリスクから国民生活の安定を守っていることを理解してもらう。 ・「自助」「公助」「共助」を適切に組み合わせて成立していることを説明	教材①
15分	税や社会保険料について ・生徒が知っている税・社会保障を挙げさせ、内容について説明 社会保障と税の違いについて ・ワークシート4(1)の部下の提案では、保険料を払い続けるのに給付を受けられない人をどうすればいいか、生徒に考えてもらう。 ・ワークシート4(2)について、生徒に考えてもらう。	教材①②

2限目(グループワーク)

- (1)日時
平成25年3月19日(火) 11:45~12:25 討議
平成25年3月21日(木) 08:45~09:05 発表
- (2)講師
講義と同様
- (3)目的(ねらい)等
介護保険制度の仕組み・必要となった理由について理解する。
介護サービスにはどのようなものがあるか理解する。
- (4)使用教材
①オリジナル教材「グループワーク用レジュメ」
②「地域で支える介護保険」(東京都荒川区作成の利用ガイド)
- (5)内容

展開	内 容	使用教材
20分	家族構成の変化(19日実施) ・高齢者をとりまく社会環境の変化について学習する。	教材①
20分	介護保険制度とは(19日実施) ・介護サービスの種類、高齢者とその家族の生活の変化について考えてもらう。	教材①②
20分	グループワーク(21日実施) ・6名ずつ6班に分かれ「介護サービスはどのようなものがよいか」グループワークを実施。 ・1班2分程度で発表。その後講評	教材①②

3限目(体験授業・施設見学)

(1)日時

平成25年3月21日(木) 10:30~11:30

(2)体験先施設名

1・2組(Aグループ):文京くすのきの郷(センター長:加藤幹代)

1・2組(Bグループ):文京大塚みどりの郷

3組 :癒しの里南千住(事務統括:藁科智久)

4組(Aグループ) :グランダ浅草橋(ホーム長:平井里奈)

4組(Bグループ) :特別養護老人ホーム台東(特養生活相談員:佐治貴子)

5組(Aグループ) :サンハイム荒川(施設長:小林秀行)

5組(Bグループ) :特別養護老人ホーム谷中(副施設長:倉本三義)

6組 :特別養護老人ホーム蔵前(次長:谷口文貴)

(3)目的(ねらい)等

特別養護老人ホームを訪問し、介護の体験・施設の見学を行うことで、介護保険制度の重要性について理解する。

(4)使用教材

①オリジナル教材「施設見学用レジュメ」

(5)内容

展開	内 容	使用教材
60分	高校から施設へ移動 (各クラス(グループ)ごとに、高校担任・副担任及び 弊社講師・スタッフがついて生徒を引率)	
20分	施設概要の説明(施設にて) ・施設の概要・歴史などについて説明	教材①
30分	施設見学 ・特養・デイサービスなどの各フロアを見学 ・レクレーションなどに参加し、利用者の方と触れ合う ・一部施設では、車イス体験などの体験学習を行う。	教材①
10分	質疑応答	教材①
60分	施設から高校へ移動	

(7) アンケートの集計結果

①ルネサンス高等学校

- ・生徒用（計34名）
- ・教諭・授業を実施した講師用（計4名）
- ・体験活動訪問先職員用（計1施設）

		質問項目	とても 関心がある	関心がある	普通	あまり 関心がない	関心がない
生徒	1	【実施前】社会保障制度について 関心がありますか？	2	8	13	2	3
	2	【実施後】社会保障制度について 関心がありますか？	4	13	9	5	3
	3	今回の授業内容はどうでしたか？	4	13	10	4	3
学校 教諭	1	【実施前】生徒の関心度合いは どうでしたか？	0	1	0	2	0
	2	【実施後】生徒の関心度合いは どうでしたか？	0	0	1	2	0
	3	今後も学校で社会保障に関する 授業を実施すべきとお考えですか？	0	1	2	0	0
講師	1	生徒の関心度合いはどうでしたか？	0	1	0	0	0
	3	今後も学校で社会保障に関する 授業を実施すべきとお考えですか？	1	0	0	0	0
施設	1	【実施前】生徒の関心度合いは どうでしたか？	0	0	1	0	0
	2	【実施後】生徒の関心度合いは どうでしたか？	0	1	0	0	0
	3	今後も社会保障に関する授業に 協力したいとお考えですか？	0	1	0	0	0

生徒 【実施前】社会保障から連想するものを書いてみてください。

<ul style="list-style-type: none"> ・年金 ×10 ・お年寄り ×6 ・生活保護 ×3 ・保険 ×2 ・国民健康保険 ×2 ・障害者 ×2 ・介護 ×2 ・子供 ×2 ・公的医療 ×2 ・政府 ×2 ・医療費 ×2 ・会社 ・未来の生活 ・介護保険 ・教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・老人の制度 ・遺族 ・20歳以上 ・税金 ・暮らし ・治療(リハビリ) ・年金=消費 ・平等 ・医療保障 ・老後 ・お金 ・破綻 ・若年者負担増 ・官民の差
--	--

生徒 【実施前】社会保障のことで知っていることを教えて下さい。

- ・厚生年金・介護保険・子育て支援・医療保険・雇用保険
- ・介護保険・生活保護・年金・国民健康保険・雇用保険
- ・国民年金・厚生年金
- ・教育支援
- 生活保護・母子家庭などによる支援などの経済的保障
- ・よく解らない ×3
- ・社会保障は正社員になると高い確率で会社が何割か負担してくれる。
フリーターでもフルタイムで働けば社会保障に入れることがある(社会保障)
年金をおさめれば老後にお金がもらえる。
- ・健康保険に入っていれば治療費負担額が減る。
- ・国民年金や厚生年金・医療保険など、すでに自分が支払っているものについての知識は多少あるが、まだ支払っていない介護保険については、ほとんど知識がない。
- ・何もわからない ×2
- ・年金の時期が先になる
- ・社会保障と税が一体化するかしないか議論になっていること、医療に大きく関わってくること
- ・とくにないです。TPPIは反対ですか？
- ・ほとんどの事に関して分かりません。
ケガや病気、失業などで生活に支障がある時に生活を保障してくれる。

【実施後】今回の授業はどうでしたか？

- ・施設見学はすごく良かったと思います。×2
- ・実際に現場を見学できてリアルな話を聞いて良かったです。
- ・1日目に説明、2日目に訪問と、うまくバランスが取れていたと思います。まとめて1日で行うと、考える時間が少なくなってしまったと思います。
- ・とても事細かに説明してくださったので、ためになった。
- ・悪い点はなかったのですが、個人的に興味がなかった(老人施設に関して)
- ・社会保障の講義はあまりよくわかりませんでした。介護施設の見学はためになりました。
- ・実際に介護現場に行けたのはとてもよかったが、説明する人が本当に舌滑悪くて聞きとるのにとても疲れた。
- ・説明はいまいち理解できなかった。
最終的に何について学ぶのか、明確にしていただけるとわかりやすかったのかなと思う。
- ・説明のやり方がわかりづらかったです。
話だけでなく聞く人が興味をもつように考えたら聞く人が増えると思います。
- ・授業の目的は理解出来ませんが、先生のお話している内容が???
- ・社会保障の説明がまったくわからなかった。各自でパンフレットを見て学習の方がよっぽど頭に入ると思う。ただでさえむずかしい話なのだから、もう少しユーモアのある方が良いと思います。
- ・見学は必要なのかなと思いました。
- ・基本、今後のためになりました。
- ・講義の内容が分かりにくかった。
- ・社会保障についてていねいに説明してもらえたが、プリントの答えが結局教えてもらえず分からないところもあった。グループミーティングでも明確な回答が分からなかった。

生徒	今回の授業について、自由に記載して下さい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・年金や失業や介護の保障制度の事が、少し分かりました。 ・ホームに行くのは初めてだったので、現場を見てショックなところもあったが、お年寄りの笑顔にいやされました。もっと、日本全体で考えるべきですね！ ・介護を必要とする人はどんどん増えるのに介護する人若者がどんどんいなくなって本当にこの先心配だ!! ・介護施設の仕事など普段見る事がなかったので、見学出来て良かったです。 ・結局何がしたいのか、よく分からなかった。 ・税金とか知らないことだらけでした。 ・小さな町でも老人の割合がとても多いのだなと思いました。 ・こんなにも介護の形があるんだなと思いました。 ・見学(老人施設)はとても良かったです。 ・実際に施設に行き、その現状を知ることで、これから近い将来にある高齢化社会について、どうすれば良いのかというのを改めて考えなければならぬ問題だと思いました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障制度については、いまいち分からないが、今回の見学については、普段見る事が出来ない場所だったので、よかったです。 ・Anybody home(ママ) ・若い子が多いんで、皆関心がなかったような。 ・まだ早いと思います。少しだけ楽しかったです。 ・何も知らなかったのでいろいろ知れてよかったです。 ・介護施設の部屋の1人あたりの面積が、その年その年で規定が異なるということを初めて知りました。 ・介護保険料が税金と保険料でまかなわれていたこと。 ・生まれてから亡くなるまでに、たくさんのお金が必要で、その在り方を考えなくてはいけないと思いました。 ・税金を払ってなくてもさかのぼって払えば対応できる場合もあるということ。
講師	<p>(社会保障に関する授業の実施について) どうしてそう思うのかご教示願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金の「無償性」とは異なり、社会保障制度(とりわけ社会保険制度)は保険料を納付した対価として保険給付を受給するというしくみとなっているので、保険料未納のデメリットを明確にすることは重要だと思わされます。 ・高校生の年齢世代は、就職・進学にかかわらず、社会保険「被」保険者の直前期であるので、事前に内容を知るのは有効であると思います。同様に20歳以降の年齢層の方々にも、知識が無いことのデメリットの確認にもなると思います。
講師	<p>授業で上手にいった点・課題となった点などをご教示願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体発行の介護保険冊子を参考資料として持参、配布いたしました。時間の関係で一部分しか使用いたしませんでしたが、より介護保険に関するイメージを持っていただくには有効であったと思います。 ・「税金」と「社会保障」の相違点、財政問題等の説明が「明確に伝わったか？」という課題が残ったと思います。

教諭	<p>(社会保障に関する授業の実施について) どうしてそう思うのかご教示願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会保障に関しては、国全体で考えていかなければならないことであり、その考察を進めるにあたって実際の場面を知ることは重要であると思うからです(ややそう思う、に対する回答) ・ 授業を開催する側に問題がある。導入を工夫するべきでは。 ・ 本校は、生徒の学年・年齢・生活スタイルが様々であるため、また、年間4日の登校日の中で授業に入れ込むための時間数の問題がある。
	<p>授業で上手にいった点・課題となった点などをご教示願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒へ社会保障に関するしくみや問題点を事前に提示することで更に深みが出たのではないかと思います。 ・ スタッフの皆さんと担当教員(引率)の連携がうまくとれていなかった。
施設	<p>(社会保障に関する授業の実施について) どうしてそう思うのかご教示願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者福祉・介護を理解していただくことで、介護に興味を持っていただきたい。
施設	<p>体験学習で上手にいった点・課題となった点などをご教示願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見学中心の体験学習であったが、利用者と関わる機会(デイサービスでの輪投げ、居室・フロアでの利用者との交流)も少しあり、生徒の表情も和らいでいた。概要説明(事前学習の進捗状況がわからなかったため)をどの程度すればよいのかわからなかった。時間も含めて詳細な打合せが必要であったと感じた。

②明蓬館高等学校

- ・生徒用（計8名）
- ・教諭・授業を実施した講師用（計4名）
- ・体験活動訪問先職員用（計1施設）

		質問項目	とても 関心がある	関心がある	普通	あまり 関心がない	関心がない
生徒	1	【実施前】社会保障制度について 関心がありますか？	0	2	3	0	3
	2	【実施後】社会保障制度について 関心がありますか？	1	3	2	0	2
	3	今回の授業内容はどうでしたか？	0	2	5	1	0
学校 教諭	1	【実施前】生徒の関心度合いは どうでしたか？				3	
	2	【実施後】生徒の関心度合いは どうでしたか？		2	1		
	3	今後も学校で社会保障に関する 授業を実施すべきとお考えですか？	1	1	1		
講師	1	生徒の関心度合いはどうでしたか？				1	
	2	今後も学校で社会保障に関する 授業を実施すべきとお考えですか？				1	
施設	1	【実施前】生徒の関心度合いは どうでしたか？				1	
	2	【実施後】生徒の関心度合いは どうでしたか？		1			
	3	今後も社会保障に関する授業に 協力したいとお考えですか？	1				

生徒	【実施後】今回の授業はどうでしたか？	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなが無言だった。 ・良かった点は、先生がとてもくわしく説明してくれたこと。悪かった点はプリントの内容が難しかったことです。 ・将来を見て通すと、とても良い機会の見学になったかと思います。
生徒	今回の授業について、自由に記載して下さい。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の家の近くにあるスーパーに売っていたクッキーが、今回見学に行った施設で作られていたこと 税と保険の違い ・老人ホームだけでなく、在宅サービスや知的障害者向けの福祉施設も1つにまとめてあった。 ・介護の大変さを知った。 ・障害者の人がおかし作りをしていたこと。 施設を案内してくれた人が最後めちゃぶりすぎてびっくりした(注:先生・事務局も含めて全員に感想を求める)。 ・お風呂が本格的だった。 ・区の施設という場所もあるんだなと思いました。

講師	<p>(社会保障に関する授業の実施について) どうしてそう思うのかご教示願います。</p> <p>高校生が社会保障を、身近な問題として捉える事は有意義な事だとは思いますが、高校生が理解し易い、テキスト作り、授業のやり方を精査しないと、「難しかった」で終わってしまう気がします。授業を実施するかしないかではなく、わかり易い授業を実施する事が大切だと思います。</p>
講師	<p>授業で上手にいった点・課題となった点などをご教示願います。</p> <p>説明自体はわかり易く説明出来たと思っておりますが、もう少し活発に意見がでるようなファシリテーションができれば良かったと思います。</p>
教諭	<p>(社会保障に関する授業の実施について) どうしてそう思うのかご教示願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会保障と税に関する知識を知ることによって、身近に介護を受けている人や社会福祉に関わる人を持つ生徒たちが、興味・関心を深められたと思うためです。 ・実際に晴楓ホームを見せていただいたおかげで、介護についての関心が高まったように感じました。ただ、社会保障というものを理解することが難しく、なぜ必要なのだろう、という考え方をできていなかったように感じられました。 ・未成年のうちに「自分が将来どうなるのか？」をイメージさせ、そのためにどんな知識が必要なのかを意識させる、いい機会だと思います。
教諭	<p>授業で上手にいった点・課題となった点などをご教示願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス・講義用レジュメがよく出来ていること、発問の設定が適切であった点などが素晴らしかった。時間配分も素晴らしかった。 ・もう少し、易しい段階から教えていただいた方が、本校の生徒には合っていたかと思いました。自分の意見を表明する事で、相手の考えを踏まえて討論することが難しい生徒が多い為、討論よりも作業的な課題の方が、打ち込みやすいかと思います。荒川区のパンフレットのように、一目見てわかる資料を準備して下さったので、理解が進んだかと感じました。 ・グループワークは難しかったのですが、一人ひとりの発表ができたのはよかったです。考えさせる問いかけが多く、生徒が真剣に「社会保障制度」を理解しようという姿勢になっていけました。資料が多い上、内容が盛りだくさんだったため、どの資料を見ればよいのか迷っているようでした。番号をふっておくとよかったかもしれません。
施設	<p>(社会保障に関する授業の実施について) どうしてそう思うのかご教示願います。</p> <p>若い世代にも福祉事業や制度に関心をもっといただければと考えるため。</p>
施設	<p>体験学習で上手にいった点・課題となった点などをご教示願います。</p> <p>当日も説明しましたが、12～2月の冬季期間はインフルエンザ等の感染症が流行る時期と重なります。当方に限らず、別の時期に変えた方が良いと考えます。</p>

③大阪ビジネスフロンティア高等学校

- ・生徒用（計14名）
- ・教諭・授業を実施した講師用（計2名）
- ・体験活動訪問先職員用（計1施設）

		質問項目	とても 関心がある	関心がある	普通	あまり 関心がない	関心がない
生徒	1	【実施前】社会保障制度について 関心がありますか？	0	3	7	4	0
	2	【実施後】社会保障制度について 関心がありますか？	1	6	7	0	0
	3	今回の授業内容はどうでしたか？	3	7	4	0	0
学校 教諭	1	【実施前】生徒の関心度合いは どうでしたか？		1			
	2	【実施後】生徒の関心度合いは どうでしたか？		1			
	3	今後も学校で社会保障に関する 授業を実施すべきとお考えですか？	1				
講師	1	生徒の関心度合いはどうでしたか？			1		
	2	今後も学校で社会保障に関する 授業を実施すべきとお考えですか？			1		
施設	1	【実施前】生徒の関心度合いは どうでしたか？			1		
	2	【実施後】生徒の関心度合いは どうでしたか？			1		
	3	今後も社会保障に関する授業に 協力したいとお考えですか？		1			

生徒 【実施後】今回の授業はどうでしたか？

・実際に老人ホームを見に行けて良かった。
 ・講師の方のお話もわかりやすく、施設の職員さんにも親切にさせていただけて、とても良かった。
 ・初めて聞く話が多くて、とても勉強になった。
 ・説明は分かりやすかったけど、思っていたのと少し違った。
 ・思っていたものと違った。進学についての授業かと思っていた。
 ・難しい事が多かったから、わからないところがあった。質問も何を質問していいのかわからなかった。
 ・話の内容は少し難しかったけど、将来私たちに関わる大事なことだと思った。
 ・なんとなく知っていたが、今回もっと知る事ができて良かった。将来は医療事務をしたいと思っているのでためになったと思う。
 ・少し難しかったけれど、なかなか関心もてる話が聞けて良かった。
 ・授業を受ける前は、社会保障制度というものを全然理解していなかったが、今考えてみると、介護施設や病院など、その制度があるから安全に生きることが出来ると改めて思った。ただもう少し噛み砕いて教えて欲しかった。

生徒	今回の授業について、自由に記載して下さい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障のことを何も知らなかったなので、勉強になって良かった。 ・施設にはPCやTVなどを持ち込んではいけないと思っていたが、そうではないことを知り、意外と自由なんだと思った。「第二の家として、この施設を捉えてほしい」との言葉に感動した。授業で、税金や社会保障のことを知ることができ、勉強になった。 ・介護施設にこんなにたくさんの行事があると思っていた。介護の種類もたくさんあることを初めて知った。 ・社会保障制度のことをあまり知らなかったが、少し知ることができた。 ・社会保障制度にも色々なことがあり、政府によって、物事が変わるので、自分も積極的に政治や保険のことを学ぼうと思った。 ・介護にも色々種類があることを知った。 ・社会保障制度や保険のことは全然わからなかったけど、講義を受けて少しは勉強になった。将来、必ず自分にも関わってくるから、良い授業を聞いて良かった。 ・もっと社会について詳しくなりたと思った。 ・看護師や介護士不足とは聞いていたが、2025年までに50~100万人ほど必要とは知らなかった。 ・社会保障制度の内容を初めて知ることができて良かった。 ・保険にも様々なものがあり、介護にも色々な方法があり、その人の状態に合わせて介護してもらえるということが分かった。 ・その人によって介護の仕方が違ってくるということを、改めて思った。 ・最初の授業も勉強になったが、この体験をして良かった。自分が思っていた場所や環境とは少し異なっていたし、「ショートステイ」など初めて聞いた。「第二の家」というほど落ち着いて暮らしているのだなと思った。介護士や看護師さんも、それに適した対応をとっており、自分にできるかなと不安になったが、すごく遣り甲斐のある仕事だと思った。
講師	(社会保障に関する授業の実施について) どうしてそう思うのかご教示願います。
	・一般の高校生には難しい内容なので、実施する場合にはカリキュラムを精査すべきだから。
講師	授業で上手にいった点・課題となった点などをご教示願います。
	・受講者がもっと活発に意見を発表できるような雰囲気作りが必要だった。
教諭	(社会保障に関する授業の実施について) どうしてそう思うのかご教示願います。
	・生徒がこれから生きていくうえで理解しておく必要がある知識で、学習しておくべきだと思うので。
教諭	授業で上手にいった点・課題となった点などをご教示願います。
	・具体例をあげ、とてもわかりやすく説明されたので、生徒は意欲的に授業に参加していた。もう少し時間があれば良かった。
施設	(社会保障に関する授業の実施について) どうしてそう思うのかご教示願います。
施設	体験学習で上手にいった点・課題となった点などをご教示願います。
	・生徒さんがどのようなことを知りたいのか事前に分かれば、よりピンポイントにお伝えできたと思う。

④都立竹台高等学校

- ・生徒用（計149名）
- ・教諭・授業を実施した講師用（計5名）
- ・体験活動訪問先職員用（計6施設）

		質問項目	とても 関心がある	関心がある	普通	あまり 関心がない	関心がない
生徒	1	【実施前】社会保障制度について関心がありますか？	5	30	73	27	10
	2	【実施後】社会保障制度について関心がありますか？	12	62	69	3	3
	3	今回の授業内容はどうでしたか？	52	73	21	0	3
学校 教諭	1	【実施前】生徒の関心度合いは どうでしたか？	0	0	1	3	0
	2	【実施後】生徒の関心度合いは どうでしたか？	0	2	2	0	0
	3	今後も学校で社会保障に関する 授業を実施すべきとお考えですか？	2	2	0	0	0
講師	1	生徒の関心度合いはどうでしたか？	0	1	3	1	0
	2	今後も学校で社会保障に関する 授業を実施すべきとお考えですか？	4	1	0	0	0
施設	1	【実施前】生徒の関心度合いは どうでしたか？	0	0	4	1	1
	2	【実施後】生徒の関心度合いは どうでしたか？	0	1	5	0	0
	3	今後も社会保障に関する授業に 協力したいとお考えですか？	4	1	1	0	0

生徒	【実施後】今回の授業はどうでしたか？	
	<p>【1組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に老人ホームにうかがいでき、お年寄りの方と近くで接し、お話を聞けてとても良い経験になりました。×2 ・お年寄りが思ったより全然元気で楽しく会話ができた。 ・この授業がなかったら老人ホームに行く機会なんてなかったと思います。行けてよかったです。 ・直接行くことが出来たのは最大のメリットだと思う。 ・老人ホームのことをよく知れた。 ・なんとなくは理解できました。 ・今の日本の介護など状況が理解できた。それについての話し合いなども楽しく出来た。 	

【2組】

- ・普段老人ホームに入る機会なんて無いし、実際今日初めて中に入ったので、中でどんな仕事をしているのか、どんな中なのか等、色々している事を知れて良かったです。
- ・少し遠かったけど来てみて良かった。皆さん明るくて、とてもいい所だなと思った。
- ・もう少しお話とかしたかったです。
- ・利用者さんがとても楽しそうで笑顔で自分も笑顔になれました。×2
- ・講師の方の笑顔が良かった。短髪で爽やかだった。
- ・今は少子化の時代なため、今回のような機会が多くなると思いました。×2
- ・全体的に見学時間が少なかったのと入居者の人たちと実際に接する時間が無かったのが残念だった。
- ・施設でどういう事をしているのかを知れた。どんな人がいるのか、なんとなくわかった。
- ・実際に施設に行って様子を見てとても充実していたが、入れない人もいることも考えると何ともいえない。
- ・案内の人が親切だった。
- ・普通の状態での施設への見学だったので、自然の感じが分かってよかった。
- ・今は少子化の時代なのでこういう機会が多くなると思ってとてもためになった。
- ・実際に使用しているものや体操などが見れて関心が持てた。
- ・老人ホームの知らない部分を沢山みれてすごく良かったです。体重計にびっくりしました。
- ・実際に見学に行けて良かったです。社会保障に関心を持った。
- ・学校で話を聞いているよりも、実際に施設に来て働いている方に話を聞いた方がわかりやすかった。
- ・介護について知ることができたし、興味を持てた。

【3組】

- ・施設見学をして実際に現場の雰囲気などを体験することができてとても良かった。
- ・資料が充実してて、わかりやすかった。
- ・今まで全く知らなかったことが色々知ることができたと思います。やっぱり働いている方々も大変なんだと思いました。×2
- ・施設が整っていて、見たことのない設備があって、驚きました。
- ・老人ホームに対してのイメージが変わりました。介護の職員の方々が入居している人々のことを考えていてすごいなと思いました。
- ・介護についてくわしくわかった。介護職ってすてきなと思った。
- ・介護施設の説明など、詳しく分かりやすく教えていただきました。
- ・施設がすごく住みやすそうでした。個室などもきれいで広かった。
- ・寝たきりの方が入れるお風呂が見れて良かったです。おじいちゃん、おばあちゃんとお話できたらよかったなあと思いました。

【4組】

- ・良かった点は車イスの 便利さを学べた。悪い点は強いていうなら時間が少なかった。
- ・交流できたらよかった。
- ・社会保障制度についていろいろ知ることができたのでよかった。
- ・あまり新しい発見がありませんでした。
- ・どういう所なのか、ということがわかった。
- ・老人ホームというか共同で暮らす家という所が素敵だなって思います。住んでいる方々に配慮してバリアフリーであったり、色々な所に工夫があるという所を見学できてよかったです。
- ・良かったところ: 住んでいる人に会えて、笑顔だったところ ×2
- ・実際に老人ホームを見学しにいくということは良かった。見て、聞いて、感じることができた。
- ・館内がとてもきれい。×2
- ・本当の家みたいだった。×3
- ・実際に施設を見たリスタッフの方のお話を聞き、とても興味がわきました。もっと利用者の方とお話しできたら良かったなと思いました。
- ・実際に介護ホームで体験できたのがよかったです。社会保障制度について色々知ることができた。
- ・事前授業が少し難しかった。
- ・難しいこともあったけれど、将来のためになったと思う。
- ・老人ホームに行くとイメージが変わった。

【5組】

- ・老人ホームとはどのような施設なのか、よくわかることができました。また台東区が23区内で2番目に多いと聞き驚きました。
- ・わからないことがわかったので良かった。
- ・社会保障制度のことはちょっと難しくて分からなかったけど、いつか大人になったらちゃんとしなぎゃって思いました。
- ・話の内容は難しかったが、成人になるまで社会保障のしくみについて知ろうと思った。
- ・施設を見る事ができて良かった。

【6組】

- ・施設の人がわかりやすく説明してくれて良かった。×2
- ・初めて来たので、少しビックリしたけど、皆すごい良い人でした。
- ・助けてもらわないと生活できないくらい重度な人がたくさんいたけど、家族があまり会いにこないと聞いてショックだった。
- ・お年寄りの皆さん元気で、笑顔で、こっちが元気をいただきました。
- ・いろいろな対応や設備などがみれてよかった。
- ・いろんな仕組みや工夫が見られてよかった。×2

生徒 今回の授業について、自由に記載して下さい。

【1組】

- ・ありがとうございました。ホームヘルパー2級をとろうと思っているので、がんばります。
- ・色々な介護の仕方があること。×2
- ・お年寄りの元気さ。
- ・老人ホームにはデイサービスやショートサービスなど色々なサービスがありました。
- ・想像と違って明るかったです。
- ・老人ホームに行ったのが初めてでいろんな人が老人ホームにはいるんだなと思った。
- ・介護保険について
- ・みなさん楽しそうだった。
- ・保険とか難しかったけど良い経験になりました。×2
- ・社会保障制度のことがわかった。
- ・自分たちが払うお金の使い道が知れた。もっと効率よくわかる方法を探したほうがいいと思う。

【2組】

- ・近所に老人ホームが無いので、外見を見るのも初めてだったので意外とキレイだったのにも驚きました。脳トレで100マス計算をしている事や四字熟語を先生よりも早く答える。とても達筆な字も飾ってありびっくりしました。皆元気で本棚にも難しい本もたくさんあり、自分の想像とは大分違うものでした。
- ・老人ホームに興味があったので、今回短い時間だったけど、おじいちゃん、おばあちゃんと触れ合えてよかったです。もっと知りたくなった。
- ・介護保険料っていうのを払うのを初めて知りました。介護を受ける人だけ払うのかと思っていたので。あと、通うタイプの老人ホームがあるのも初めて知りました。
- ・老人ホームの生活が楽しそう！！×2
- ・最初は利用者さんたちは大体部屋にいて、のんびり過ごしているのかと思っていたのですが、広間に出たり一日のスケジュールが決まっていたと驚いた。皆さん楽しそうで、イメージとは大分違うと思った。ありがとうございました。
- ・皆さんとてもお元気でビックリしました。またこのような授業があればもっとくわしく利用者さんたちとお話したいです。
- ・社会保障や年金の仕組みなどが分かりました。近くに老人ホームがあってどんなことをやっているのか疑問に思っていたのですが、実際に見てこんなに楽しい雰囲気で行っているのだなと思いました。
- ・毎日イベントがたくさんありました。
- ・声が聞こえない、とか左右逆じゃないといちいち突っ込んでくる人はいやだった。介護している人たちはちょくちょくトイレ大丈夫ですか？とかせわしなく動いていたりとかして大変そうだった。
- ・お年寄りの方が皆と喋っていて、とても生き生きしていたのでいいなーと思いました。
- ・いい人たちばかりだった。みんな元気そうで想像してたのと違った。
- ・税金がどこに使われているかなど、給料から税金がたくさんとられることがわかった。
- ・色々老人ホームができてきて競争がすごいということ。
- ・老人はやさしい人もいればむかつくやつもいるとわかった(原文ママ)
- ・少子高齢化が進んでいる中、これから私たちがどう高齢者の人たちを助けて、支えていけないといけないかという事を考えさせられた。
- ・施設には初めて来たので全てが未知のことでした。いろいろな感情がありました。とても貴重な時間でした。
- ・社会保障についてなにも知らなかったことがわかった。

- ・日本は超高齢社会になっているので施設が足りなかったりする問題もあるので大変だと思いました。
- ・老人ホームに入りたいくても入れない人がいることを知った。ずっと住んでるわけでもなく夜は帰る人がいることを知った。
- ・施設不足。家族がしっかり介護すべきだったと思う。
- ・老人はやさしい人もいる。全く行動ができなくなった老人をサポートする仕事は素晴らしいと思う。
- ・車イスで乗ったまま体重を計れるものがあるって便利だと思った。風呂やトイレなども介護が必要で大変だと思った。
- ・老人ホームに女性が多いのは、男性の方が寿命が短く、女性が男性の介護をし、男性が亡くなったら、女性は誰からも介護してもらえなくなってしまうから。
- ・老人ホームは申し込んだ順ではないことが分かった。60人くらいが定員なのに申し込んだ人が700人くらいいることが分かった。介護の重度や家族内の状況によって入る速さが決まることがわかった。
- ・自分の祖父や祖母も入っていたことがあり、亡くなっているので詳しいことを知れてよかった。より多くの施設が必要なんだなと思った。
- ・税について知らない多くの制度を知った。一つの施設でもいろんな方がいるんだと思った。
- ・幅広い年の方が利用している。
- ・介護を必要としている方がたくさんいる事がわかった。
- ・老人ホームは種類や重度別に分かれているんだということを初めて知りました。

【3組】

- ・介護施設では家族として接してもらえることはとても幸せなことだと思う。
- ・老人ホーム介護施設のイメージが悪い感じから良くなった。お年寄りの方の笑顔がまぶしかった。働いている方は全力でお年寄りの方のサポートをしていてすごく良い仕事だなと思った。
- ・知っていることもありましたが、知らないことも多く知っていることもより深く知ることができてよかったです。さらに見学でもいろんな施設を見ることができたり少ない時間でしたがお年寄りの方とふれあうことができてよかったです。
- ・介護の仕事のやりがいについて知った気がする。感謝されることはいいなと思った。×2
- ・介護には3種類あること。長年やった人々はやりがいがある。
- ・今回は竹台高校のためにありがとうございました。この授業を通じて介護という仕事のイメージが変わり、大事な仕事なんだと強く思いました。大変なお仕事かと思いますが、これからも頑張ってください。×2
- ・介護はとてもしんどいというイメージがありました。でも職員はニコニコしててやりがいがあると言っていたから、驚きました。
- ・介護について関心を持つことができました。×4
- ・介護は私たちにとって身近だということ。福祉の仕事に興味を持ちました。
- ・普段見学できない所を見学したり、お話を聞けて良かった。介護の印象が良い方へ変わりました。介護のお仕事はとてもすてきなお仕事だと思いました。×3
- ・施設がかなり充実していると思いました。
- ・母が働いている所より良いところでした。
- ・やはり帰宅願望者の方の扱いは大変なのかと思いました。
- ・ヘルパーのみなさんを含め、おじいさんやおばあさんたちが元気そうだった。ファミリーとして、よい家族に見えました。×3
- ・部屋の広さなど入居者さんや職員さんが工夫しており過ごしやすい環境になっていてすごいと思いました。
- ・見学してみて印象が変わった。居心地が良さそうだった。色々な工夫があって驚いた。
- ・管理栄養士になりたいので、栄養士の方のお話も聞きたかったです。
- ・仕事を1人で担当しなきゃ他の仕事がまわらなくなってしまうというのが、すごく大変そうだなと思いました。もっと人がいれば良いのでしょうか？

【4組】

- ・利用者のことをよく考えられていると思った。
- ・お年寄りに対して良心的なサービスだと思った。
- ・「高齢者」と一括りにしてしまうと、本当に失礼なことになってしまうなと少し感じました。肉体労働よりも実はコミュニケーションなんかがすごく大事なお仕事なんだなって思いました。
- ・住居者を「お客様」と呼んでいるのに驚いた。一人ひとり、丁寧に真剣に考えて大切にされているんだと思った。
ホテルみたいになっていてすごかった。老人ホームを見学して、自分の目で見るのが大切だと思った。
- ・社会保険料についての仕組み／介護に至るまでの流れ／介護の種類／老人ホームのスタッフの仕事内容
- ・個室部屋がベースで、夫婦用の部屋もあった。老人ホームというより病院のように感じました。
- ・24時間365日家族の出入りが可能などところもあるということ。
- ・本当に接するのがどれだけ大切かが分かったし、すごく住みやすそうだなと思った。あと、すごくきれいだった。
- ・入居者たちが自由にできるのは初めて知った。もっと暗いイメージがあったが、思っている以上に明るかった。
- ・老人ホームと言ってもいろいろな種類やスタイルがあることにびっくりした。もっといろいろな施設も見てみたいと思いました。
- ・下の階に病院があったことに驚いた(グランダ浅草橋)

- ・人と接する仕事は大変なことがいっぱいあるんだなと思った。でもやりがいもあって仲良くなったら楽しいだろうなと思った。
- ・入居者の70%が女性／就職(高校卒業後できる)／入居者の方が何をしたいのかが言える関係性を作ることが大切
- ・私の母もホームヘルパーをやっていて、自分の母親を見ているようで、母親がどれだけ大変なことをしているかわかった。
- ・初めて老人ホームという施設に入って、初めて知ったことがたくさんありました。友人で老人ホームで働いている人がいるので、今度話を聞いてみようと思います。
- ・入居者の70%が女性／信頼関係が大事／老人ホームは家で生活できない体の人たちが住む場所だと思っていたけど、そうじゃなくていろいろな人たちが生活している事がわかった。
- ・老人ホームは、ただ年とった人が入るところではなくて、いろんな事情ではいる方もいらっしゃるということで、50歳の年齢差があると知ってびっくりした。自分の親のことを考えた。将来、関係ないことではないので、考えさせられた。

【5組】

- ・ここが古いタイプだと聞き、びっくりしました。これからもこういったことを考えていくのも必要だと思いました。今日はありがとうございました。
- ・実際に施設に来て、くわしい老人ホームのことが分かったので体験してよかった。
- ・谷中の老人ホームは昔のホームで、私の地元の北区にもあると聞いてビックリした。寝ながら入れるお風呂はすごいと思った。
- ・保険のこととか介護のことなんてあんまり考えたことなかったけど、今回の見学で少しは知れたなと思います。
老人の方と話しても、すごく大きな声で言わないと聞こえてなかったり、話がかみあってなかったりして、大変だなと思いました。でも、一人でさみしく家にいるより、みんなでいれたらいいのかな、って思いました。
- ・初めて老人ホームに行った。病院みたいだった。
- ・本当に家でなくても家族がいなくても普通に生活していること。施設にはいろんなことのためのいろんなものがあること
- ・障害がある人が入るお風呂を始めて見ました。×2
- ・自分にも関係あることなので、学んで良かったと思った。
- ・僕たちにとってはあまり不自由に思えるところがなかったんですけど、実際入院してる人は何か不自由なことがあるのかなと思いました。

【6組】

- ・今の時代は自分で選択するんじゃなく家族で延命するかしないかを決めている。
- ・エレベーターや階段に工夫してあったこと ×3
- ・見ただけでしたが、すごく大変なんだなと思いました。
- ・非常口やベッドの側にセンサーがついていること
- ・コミュニケーションをとるのが難しかったけど、お年寄りの方の現状や施設のことがよくわかりました。
- ・様々な人に合わせてのいろいろな介護があることを知りました。
- ・老人ホームで住みこみをするのを、初めて知りました。
- ・老人ホームは病院みたいだった。
- ・お風呂が自動だった。×2
- ・初めてこのような施設を見学させて頂き、とても勉強になりました。
- ・室内もとてもキレイでみなさん明るい人で驚いた。関心がわきました。
- ・元気なお年よりもいれば、身体が不自由なお年よりもいて、介護が大変だと思った。
- ・テーブルが低くて、車イスの方が使いやすいからなのかなと思った。
- ・老人ホームの現状や仕事の様子

教諭	<p>(社会保障に関する授業の実施について) どうしてそう思うのかご教示願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分(生徒)の身の回りに身近な例があり、関心を持ってたと思う。 ・社会保障に関して、保険の授業でやっているのも、又、私たちにとって身近な問題である。 ・意義のあるプログラムではあるが、実施時期が多忙な時期と重なっていたため、もう少し予め詳細な実施計画が示されるといいと感じました。 ・生徒自身の将来に関わる問題だから。
教諭	<p>授業で上手にいった点・課題となった点などをご教示願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材が細かすぎ、お話中も資料をとんで説明されるので、生徒が戸惑う面もあった。話の順に整理された資料だと良かった。 ・高校生の生徒に、もっとわかりやすく説明して欲しかったです。 ・授業の基本的な流れは良かったと思います。ただし、もう少し分かりやすくする工夫、基本用語(例えば「特別養護施設」とか)の説明があれば、なお良かったと思います。 ・教材が不親切でねらいが不明確。もう少し段階を分けて具体的にしたい。
講師	<p>(社会保障に関する授業の実施について) どうしてそう思うのかご教示願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設見学後の生徒の様子が変化し、興味を持った人もいた。 ・実践的な講義は普通の座学のみと比べていい。 ・介護や医療関係に進む生徒には特に必要な知識ですの…。 ・人がこの世に生を受け、生きていくうえで、連帯(支えあい)の思いと実践が不可欠である。社会保障は、この支えあいにこの実践そのものであり、生涯学習に必須のテーマとなり得るからである。 ・就職前に社会保険制度(「保険制度の基本的仕組み」といえば保険料の計算方法、受給できる保険給付等々)の知識を持っていることは、離職率の低下にも寄与すると思いますので、カリキュラムに組み入れていただきたいと感じました。
講師	<p>授業で上手にいった点・課題となった点などをご教示願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・50分の講義では、スピードが早く、自分自身の方法も考えないといけない、もう少しやさしく教えられようようにしたい。 ・介護保険という難しい点が生徒によっては難しかったが、身近なテーマにすると興味をもてただけだと思う。 ・高校生に社会保障を教えるのは大変ですので、テキストの作成から工夫する必要があると思いました。 ・より踏み込んだ具体的事例を授業の中に散りばめること、生徒は一般社会での知識や情報に、思いのほか疎く、弱いという前提条件の中で、授業にのぞむことが必要であること。この2つが授業成功の鍵である。 ・1、課題となった点 <ul style="list-style-type: none"> ・レジュメのボリュームに比べて、50分の講義時間は短いと感じます。 ・グループワークの課題が抽象的だと感じます。 ・2、上手にいった点 <ul style="list-style-type: none"> ・担任の先生との連携がうまく行えたと感じます。

施設	<p>(社会保障に関する授業の実施について) どうしてそう思うのかご教示願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉や社会保障などの知識を持たない、高校生に社会福祉現場を見て知ってもらうことは、わずかであっても将来の人材確保につながる可能性があるため。また一般に施設を知ってもらえる有意義な機会である為。 ・もっと社会保障のことを知ってもらいたい。自分たちが担って行くということを少しでも良いので感じてもらいたい。 ・彼らの成人後は、今よりもっと厳しい現実(税金の負荷など)が予想されるから。 ・もう少し関心を持ち質問していただきたかった。 ・少しでも介護の担い手を増やしていきたいという思いのもとです。また、就職に結びつけられる部分もあるのでは。 ・協力する必要性は感じますが、多忙な時期(1~5月)と時間(AM)を避けていただければ助かります。
施設	<p>体験学習で上手にいった点・課題となった点などをご教示願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・果たして「社会保障」という観点から、こちらの意図が伝わったかは判断できない。こちらの準備不足も否めない気がした。不安げな高校生が、終了後には明るい表情になり、少なくともわずかな感心を示してくれたことは良かった。 ・興味、関心ということ以前に、もう少し介護に関すること(介護保険・介護制度など)を学んでから施設見学をして頂けると良いと思った。学生自体もなぜ見学をしているのか、理解できていない様子でした。 ・もう少しゆっくり見学してもらった方がよいかと思った。 ・質疑応答にて介護というものに少なからず興味を持っていただいた学生さんが増えたのではと思います。

3. 授業の実施結果の検証

(1) 生徒の関心・理解に繋がった点

【講義】

「政府の役割と社会保障」のワークシートをそのまま使用した場合、難易度が難しく生徒が理解しきれないことが予想された為、以下のようなわかりやすい説明・進行を心がけた。

- ①政府の歳入・歳出を「お小遣い」を例にわかりやすく説明した。
- ②生徒が知っていると思われる事項(税の種類など)については生徒に答えさせ、生徒の関心を惹きつけられるようにした。

【グループワーク】

- ①柏市や荒川区の介護保険に関するガイドブックを使用することで、特に介護サービスの種類等について、具体的に理解させることができた。
- ②学校によっては設問のレベルを下げるなど、柔軟に対応したことで、生徒の消化不良を起こさせないように工夫した。

【体験学習(施設見学)】

時間や人数の関係上、「体験学習」を行う時間が限られていた為、利用者と話やゲームをしたり、利用者の居室にも入る時間を設けるなどすることで、体験と同等の成果が得られるようにした。

【アンケートより】

- ・施設見学はすごくよかったです。
- ・実際に施設に行き、その現状を知ること、これから近い将来にある高齢化社会について、どうすれば良いのかというのを改めて考えなければならない問題だと思いました。
- ・授業を受ける前は、社会保障制度というものを全然理解していなかったが(中略)介護施設や病院など、その制度があるから安全に生きることが出来ると改めて思った。
- ・保険にも様々なものがあり、介護にも色々な方法があり、その人の状態に合わせて介護してもらえるとということが分かった。

(2) 問題点・改善点

- ① グループワークの設問が抽象的なものが多く、
「結局何が正解なのか」がわからないという意見が出た。
⇒ 社会保障を扱っている以上、このような設問になるのはやむを得ない部分もあるが、答えがはっきりしている設問も交えた方がよいと思われる。
- ② 提供されたワークシートのレベルが高い
⇒ 社会保障をゼロから学習するにはレベルが高いと思われる。
もう少し、内容量やレベルをおさえたシートにすべきと考える。
- ③ 弊社専任講師が担当した為、日頃の生徒の様子・コミュニケーションを踏まえたうえでの講義ができない。
⇒ 高校とプログラム内容を共有することで、学校教諭に講義をさせるパターンでも実施すべきと考える。
- ④ 施設担当者との連携不足
⇒ 施設担当者とは事前の打合せを行っているが、どうしても当該プログラムの主旨(単に施設の見学ということではなく、社会保障制度の理解の一環として、という部分)が伝わっておらず、講義・グループワークと内容が断絶してしまった部分があった。
講義・グループワークの内容を簡潔にまとめた資料などを作成した上で、より綿密に打合せを行なっておけば、解決できたと考える。

4. 社会保障教育の全国展開・定着に向けた考察

(1) 現状の課題

- ・現在の厚生労働省ワークシートは分量が多く、内容のレベルも高い
⇒プログラム上、50分で学習する時間配分としたが、分量が多い、資料のレベルが高い等の理由で、全て消化するのは困難であった。
内容も冒頭から「歳入」「歳出」など難しい言葉もあり、全ての生徒に対応するには難しい内容と考えます。
- ・体験活動受入先を探すのが困難、手間がかかる。
⇒介護老人施設の場合、体験自体の受入を嫌がられるケースが多い。
また、受入を認めて頂いたとしても、受入人数が多くても15～20名ほどで学年全体の実施の場合、選定がかなり困難となります。
- ・当該年度になってから日程を決めるのでは遅い。
⇒多くの高校では前年中に様々な行事の年間スケジュールを決めております。
当該年度になってから日程の打診などをしても、空いているスケジュールがない場合が多く、日程を決めるのが困難となります。

(2) 提案

- ・字体を大きく、わかりやすい内容のテキストの作成
⇒①身近な具体例から入り、段階を踏んで社会保障制度が理解できる内容とする。
②字体も大きいフォントとし、生徒の興味をひくようなレイアウトとする。
- ・施設での体験にこだわらず、施設担当者を学校に招いての授業など多彩な形態による実施
⇒施設の様子などはビデオなどを見てもらうことでイメージしてもらう。
- ・当該事業の目的・内容が一目でわかるような資料の作成
⇒実施高校や受入れ先施設を選定する際、スムーズに説明を進める為のツールとして使用する。
(特に「厚生労働省の受託事業であること」が記載されていると受入の交渉がスムーズに進められる)